

トピックス

書協理事長 新年のあいさつ	1
台北国際書展1/31～2/5に開催	2
ジェッタ国際ブックフェア 視察レポート	2
日仏出版ワークショップ 2/3対面開催	2

一般社団法人日本書籍出版協会

より豊かな出版界の実現に向けて

一般社団法人 日本書籍出版協会

理事長 小野寺 優

明けましておめでとうございます。

旧年中は出版業界ならびに当協会の活動にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございました。本年が皆様にとって明るい年になりますことを祈念いたしております。

ただ、出版界は厳しい年明けとなりました。昨年来の社会情勢を受けた紙の価格や諸経費の上昇は、出版物の原価増を招いています。一方、相次ぐ生活必需品の値上げが、人々から出版物を購入する余裕を奪っているようで、厳しい売り上げが続いています。

そのような状況下でしたが、昨秋には、出版社、取次会社、書店が一致協力した読書推進月間「BOOK MEETS NEXT」がスタートしました。本好きな方はもちろん、普段あまり本を読まない人にも読書や書店に興味を持ってもらおう、という新たな取り組みです。当協会でも本年秋には小規模ですが新たなブックフェアを開催し、この機運をさらに高めたいと検討を始めています。本年は、このような業界一丸となった取り組みをさらに進めたいと思いますので、広く社会への周知にご協力くださいますようお願いいたします。

一方、社会全体の急激なデジタル化は、新たなサービスとそれに伴う権利問題を生んでいます。

昨年秋には、SARLIB(図書館等公衆送信補償金管理協会)が設立され、11月に著作権法に基づく指定管理団体として指定を受けました。この補償金制度の本格運用は2024年度からになると思いますが、図書館利用者の利便性向上と、権利者への対価還元のバランスをとった運用を目指しています。

SARTRAS(授業目的公衆送信補償金等管理協会)では、いよいよ徴収した補償金の分配が行われます。分配にあたっては、教育機関から送られた利用報告データから権利者を特定する作業に大変手間がかか

りました。中には、本来補償金でカバーできる範囲を大幅に超えた利用も多数報告されており、まだまだ改善の必要があると思います。出版社の立場からも、教育現場にさらなる啓発活動を行う必要を感じています。

今年の通常国会には、著作権法の改正法案が上程される見込みになっています。その中で、「簡素で一元的な権利処理方策の導入」については、制度の作り方次第では、出版をはじめ既存のコンテンツビジネスに大きな影響を与える可能性があります。またそれに伴って設立される分野横断の窓口組織の運営が、民間の権利者団体等に負担をかけず経済合理性をもって行われるかにも注目しています。

インボイス制度に関しては、当協会のホームページでも情報提供を行い、会員社向けの税務研修会も開催し、各出版社における適切な対応に向けての周知を図ります。各出版社には独禁法や下請け等の要請も踏まえた上で、適切に対応していただきたいと思えます。

その他、物流業界の2024年問題やコンテンツの海外展開の推進、日本出版インフラセンターによる書誌情報データベースの機能充実、読書バリアフリー法に対応するアクセシブル・ブックス・サポートセンター(ABSC)の設立準備等、課題は山積しています。ただ、どの課題に取り組む時も意識すべきは、「業界にとって都合の良い解決策」ではなく、「解決策の先にあるのが、読者や著作者にとって幸せな環境か」という視点だと思っています。読者がワクワクし、著作者が書き続けたいと思える環境を作り上げていかなければ出版の未来はありません。それを忘れずに、本年も豊かな出版界の実現に向け、取り組んで参ります。皆様のご理解ご協力を切にお願いいたします。

台北国際書展 1/31～2/5に開催

TiBE 台北国際書展 (= TIBE / 主催: 文化部*, 台北書展基金会 *台湾 行政機関) が2023年1月31日(火)～2月5日(日)まで、台北世界貿易中心展覽大樓 (Taipei World Trade Center) で開催する。2022年は営業時間・規模を縮小しての開催だったが、今年12月に入境上限数が撤廃されるなど、今回のフェアは本格的なリアル形式での国際イベントとなる。

今年は、ポーランドを招待国に、ライツセンターが設置され、台湾書籍の版權輸出等の国際的なライツビジネス活動に力をいれたイベントが展開する。そのほかプロフェッショナルネットワーキングイベント等 (日本書籍出版協会からもスピーカー参加) が実施され、台湾内外の出版社の交流を促す企画が多く行われる。

詳細: <https://www.tibe.org.tw>

サウジアラビア ジェッダ国際ブックフェア 視察レポート

サウジアラビアの商業都市ジェッダで、ジェッダ国際ブックフェア (主催: サウジアラビア文化省) が12月8日(木)から17日(土)まで開催され、600社(100カ国)が出展した。日



本書籍出版協会は、現地主催者から招待を受け、視察を行った。

現地担当者の説明では、本ブックフェアは、読書・出版文化産業を発展

させることを大きな目的に開催されている。サウジでは、今まで同国を支えていた主幹産業である石油ビジネスだけではなく、科学、医療、教育産業にも力をいれており、出版産業がこれらの産業を支える基礎になると位置づける。フェア会場には、日本のマンガを中心にコミックエリアが大々的に展開しているほか、ITや自然社会科学系専門書、高等教育出版物、参考書な

どを展示するブースも目立っていた。また、欧州をはじめとする文学作品も数多く紹介されており、現地作家のサイン会には多くの女性読者が列をなすなど、読書や書籍に対する関心が大きいことがうかがえた。

ビジネス向けイベントでは、25カ国からスピーカーが参加し、出版とデジタル、サイエンスフィクション等をテーマにしたセッションが15回開催された。「出版とデジタル」に参加した日本からは、日本における海賊版対策の一環としての「Stop! 海賊版キャンペーン」やABJマーク普及活動について報告。中東地域では、アラビア語を母語とする複数カ国にアラビア語1言語で出版物を流通できる事情から、紙の書籍よりも電子書籍やオーディオブックなどの媒体で流通するのが効率的だと考えられている一方で、海賊版への対応も急務としている。

現地で面会した文化省担当者は、今後日本の出版界とは、版權ビジネスを含め、著作権の保護に関する議論や文化的領域でも交流を深めていきたいと語った。

日仏出版ワークショップ 2月3日対面開催



出版版權取引や出版社間のネットワーキングを目的とした日本・フランス出版ワークショップが、フランス国際出版事務局 (BIEF) とアンステイテュ・フランセ日本 (在日フランス大使館内) との共催で、2023年2月3日(金)に東京

日仏学院 (新宿区市谷船河原15) にて開催する。今回はフランスの出版社等の版權担当者が来日し、日本の出版社と対面することを希望している。本イベントでは、2国間の個別ミーティングのほか、日仏の実用書・美術本等の市場動向報告やビュッフェランチなども用意されている。対象とする出版ジャンルは、健康、自己啓発、子育て、余暇の過ごし方 (趣味本)、アート (技法書含む)、美食 (和食や日本酒、料理本)、ライフスタイル、芸術、写真集等で、日本の出版社からの参加を広く呼び掛けている。本ワークショップの詳細、申込書は[日本書籍出版協会 \(=書協\) HP](#)の「お知らせ」欄から確認できる (申込締切: 1月12日(木))。

(問合せ 書協 jbpa.international@jbpa.or.jp)

出版統計

書籍	11月期	前年同月比	1～11月期	前年同期比	書籍出回り	11月期	前年同期比	1～11月期	前年同期比	
新刊点数	5,367点	92.0	61,293点	96.7	推定出回数	6,258万冊	97.4	71,197万冊	94.9	
新刊推定発行部数	2,263万冊	99.1	24,434万冊	97.7	推定出回金額	779億円	95.3	8,900億円	95.7	
新刊平均価格	1,324円	98.1	1,268円	102.0	推定出回平均価格	1,244円	97.8	1,250円	100.8	
新刊推定発行金額	300億円	97.1	3,097億円	99.6	実売部数	11月期	前年同期比	1～11月期	前年同期比	
月刊誌	11月期	前年同月比	1～11月期	前年同期比	書	籍	4,005万冊	95.9	45,936万冊	94.7
発行銘柄数	1,769点	96.5	2,392点	97.7	月刊誌	4,931万冊	99.7	52,240万冊	86.4	
推定発行部数	8,071万冊	97.4	87,892万冊	86.9	週刊誌	1,543万冊	85.8	18,173万冊	92.0	
平均価格	705円	100.6	700円	104.0	実売金額	11月期	前年同期比	1～11月期	前年同期比	
推定発行金額	569億円	98.0	6,156億円	90.4	書	籍	509億円	93.7	5,975億円	95.4
週刊誌	11月期	前年同月比	1～11月期	前年同期比	月刊誌	345億円	100.3	3,629億円	90.2	
発行銘柄数	74点	101.4	81点	98.8	週刊誌	61億円	89.5	716億円	94.0	
推定発行部数	2,781万冊	88.7	31,419万冊	91.2	実売金額合計	915億円	95.8	10,320億円	93.4	
平均価格	410円	104.3	406円	102.0						
推定発行金額	114億円	92.6	1,274億円	92.9						

- 銘柄数 月刊誌は1ヵ月、週刊誌は1週間平均の発行銘柄数
- 部数 配本されたと推定される部数。書籍出回り部数は新刊・重版の流通総量を表したものの。
- 平均価格 部数を加味した加重平均価格(税抜)
- 金額 発行部数・出回り部数を価格で換算した金額

[提供 出版科学研究所 (Tel.03-3269-1379)]

INFORMATION

印刷博物館「世界のブックデザイン2021—22」展 関連イベント

■「第55回造本装幀コンクール審査を振り返って」

日時：2023年1月29日（日）14:30～16:00

内容：第55回造本装幀コンクールの審査員を務めた秋山伸氏（神戸芸術工科大学教授、多摩美術大学客員教授）、濱崎実幸氏（ブックデザイナー）が、今回の審査の様子や受賞作品について語るオンライントークショー

■「第55回造本装幀コンクール受賞者〈受賞作〉を語る『広告 Vol.415 特集：流通』（仮題）」

日時：2023年2月19日（日）14:30～16:00

内容：第55回造本装幀コンクールにて経済産業大臣賞を受賞したディレクターの篠原慶丞、グラフィックデザイナーの上西祐理、加瀬透、牧寿次郎の4氏によるトークショー

詳細・申込先：<https://www.printing-museum.org/collection/exhibition/g20221210.php>
(問合せ 印刷博物館 Tel. 03-5840-2300)

編集後記

明けましておめでとうございます。今年はみなさまに明るい・お役に立つ情報をお届けしたいと思います。

2023年が皆様に取りまして、よりよい一年になりますよう、お祈り申し上げます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。(あ)



一般社団法人 日本書籍出版協会

発行人：樋口清一

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32

TEL：03-6273-7061

FAX：03-6811-0959

Web サイトもご覧ください

<https://www.jbpa.or.jp>